

令和元年度東部地区道徳授業研修会

授業研究を通して教員の指導力の向上を図り、小中学校及び義務教育学校における道徳科及び道徳教育の一層の充実に資するため、道徳授業研究会を開催いたしました。各会場校では創意工夫にあふれた授業が展開され、各分科会では参会者の先生方が熱心に協議する姿が見られました。

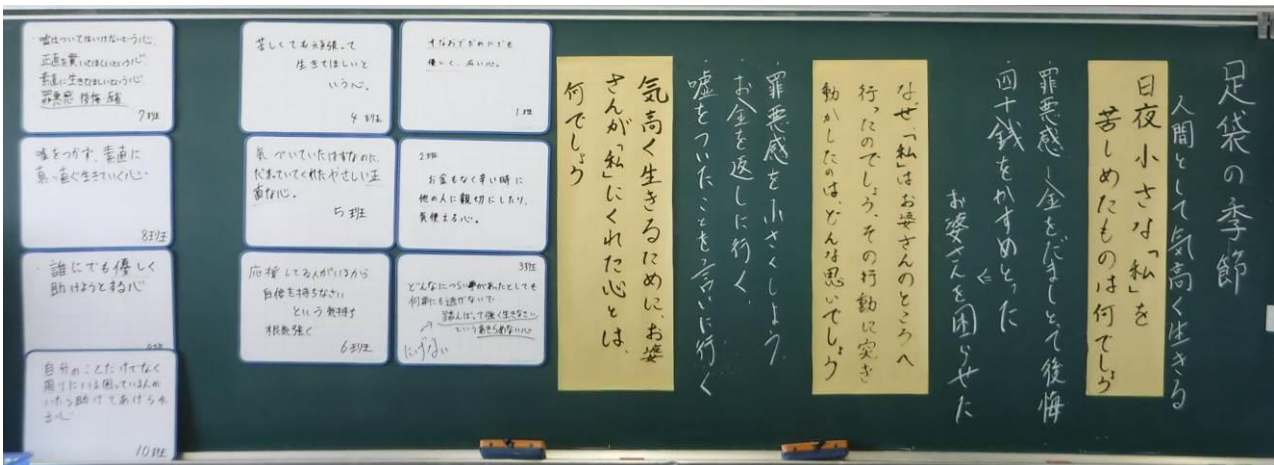
宮代町立前原中学校

第2学年部会

主題名 人間として気高く生きる

【内容項目 D 人間の強さと気高さ、よりよく生きる喜び】

教材名 「足袋の季節」(「中学生の道徳」学研)

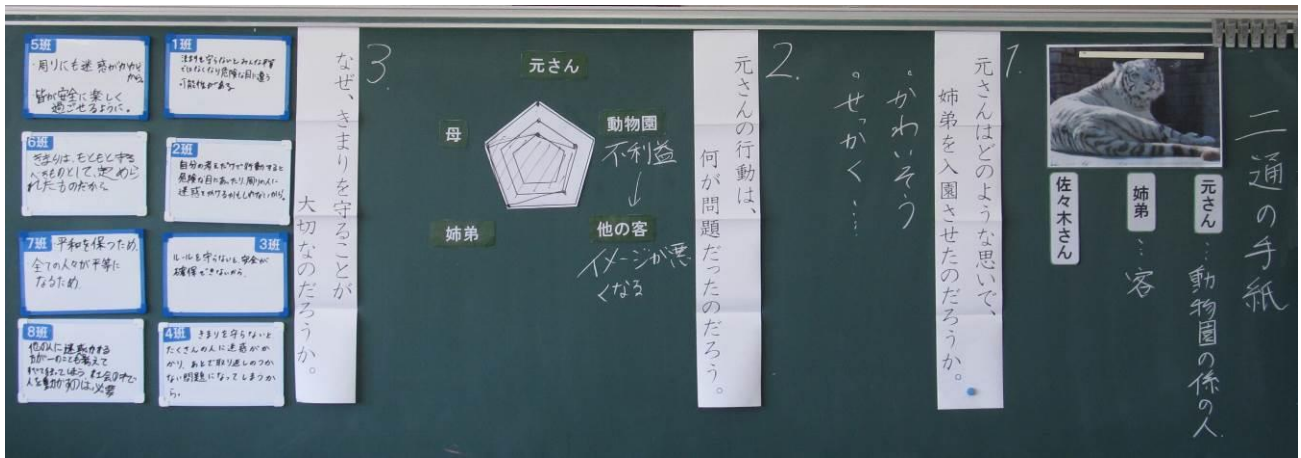


第3学年部会

主題名 社会の秩序と規律を守る

【内容項目 C 遵法精神、公德心】

教材名 「二通の手紙」(「中学生の道徳」学研)



参会者の感想

1 研究授業及び分科会をととして参考になったことは何ですか（特に多かったもの）

第2学年 部会

- ・導入における教材提示の工夫
- ・話し合い活動の工夫
- ・指導案の書き方
- ・発問の工夫
- ・終末における説話等の工夫

第3学年 部会

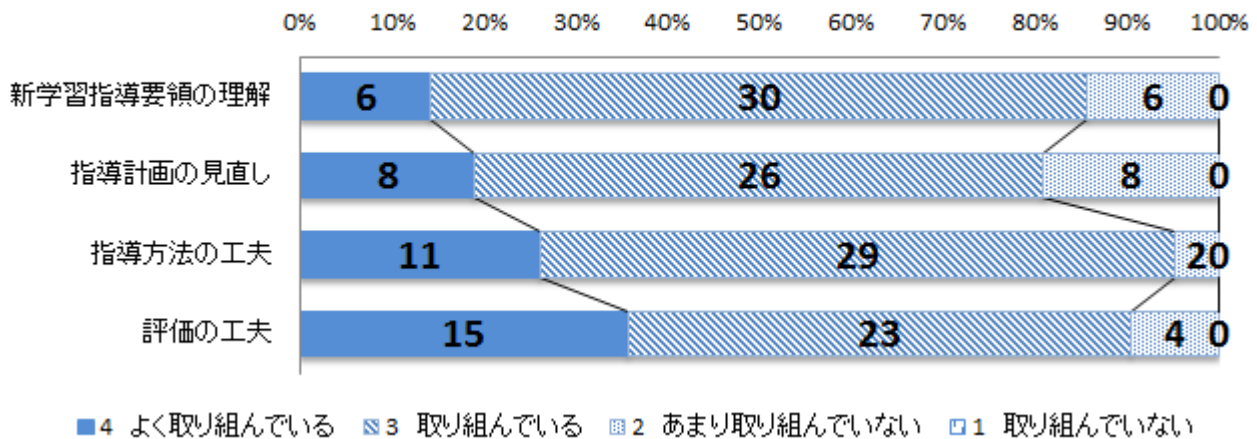
- ・発問の工夫
- ・話し合い活動の工夫
- ・導入における教材提示の工夫
- ・評価につなげる工夫

【その他】

- 実際に授業を見せていただくことで、こんな発問の仕方はどうだろうか？こんな板書をしたら効果的ではないか？など発見が多くあった。
- グラフの活用の仕方がよかった。
- 生徒の意見を聞いた後の切り返し方が参考になった。
- 誰も思いつかないような生徒の意見も先生が肯定していたところがよかった。

2 「特別の教科 道徳」実施にあたって、現在どのようなことに力を入れて取り組んでいますか

「特別の教科道徳」実施にあたって、現在力を入れて取り組んでいること



3 日頃、道徳科の授業で感じている悩みや取組

- 効果的な視覚的教材の準備や評価との一体化を常々考えるようにしている。
- 今年度から教員全員でのローテーション授業を組み、授業力向上に取り組んでいる。
- 評価方法や評価のための資料の蓄積など、全職員で共通して使えるものを検討している。
- 「道徳はこうあるべき」という固定観念をもたせない柔軟な道徳の時間についての研修を進めていきたいと考えている。
- 話し合い活動のまとめ方が難しい。意見をまとめて発表して終わってしまうこともあり、どうすれば自分の意見を深められるのか、助言や共有の手立てを具体的に知りたい。
- 今年度から道徳科の評価が始まり、どのようにやっていくか道徳部会で話し合いが続いている。教師間の温度差があり、多くの先生方に道徳の授業を考えてもらうよう声をかけている。